

校舎改築情報第4号（令和7年3月10日）

旧校舎解体工事は順調に進み、管理棟は姿を消し、校舎棟の解体が東側から始まっています。

今回は、旧校舎に立っていた2基の石碑について掲載します。





1枚目の写真は、旧校舎の東玄関近く（幼稚部教室があった場所の北側）に立っていた2基の石碑です。向かって左側の石碑には「深沢洋治郎先生之碑」、右側の石碑には「立川吉五郎翁頌徳碑」と刻まれています。2枚目の写真は、解体直前に撮影した石碑です。

深沢洋治郎氏は、昭和5年の開校当初に教諭として赴任され、昭和10年からは第3代校長として、昭和28年11月、校長在職中に亡くなられるまでの長きにわたり、本校発展のために多大な功績

を残された方です。昭和30年11月22日に深沢氏の三回忌にあたって、同窓会が中心となって頌徳碑を建立しました。

立川吉五郎氏は盲人の実業家で、台町に所有していた畑地500坪を本校のために寄贈していただいた方です。開校当初は上野町にあった八王子商業公民学校を昼間だけ借用していましたが、昭和12年に念願だった盲学校校舎が建設されました。昭和20年4月27日の創立記念日に、同窓会が立川氏の功績を称えて頌徳碑を建立しました。

残念ながら、お二人の頌徳碑は解体されてしまいますが、新校舎竣工の際に新しいモニュメントを設置する予定となっています。